

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

ニュース 第18号

会場うめる満杯の参加者、たえない質疑・・・

日本共産党品川区議団が 政務調査費問題で報告会を開催

共産党品川区議団は1月29日、品川の政務調査費問題で緊急区政報告会を行いました。

会場の荏原第五地域センターの集会室は60名の参加者で満杯。報告後の質疑でも参加者から切れ目なく意見が出されるなど、この問題への区民の関心の高さをうかがわせました。

区議団追及チームによる報告の内容の主に以下の通りです。

自民党のみならず、この間「不明朗支出」と新聞でも報道された民主・公明に關しても、追求チーム独自の調査結果をもとに明らかになったあらたな疑惑について

- ・ 広報活動費の82%がタクシー代、「政策研究費」と称したパーティー券の購入【民主党所属の会派「区民連合」】

- ・ 05年4～6月の3ヶ月の間に全国58ヶ所総額698万円もの「研究」旅行【公明党】

- ・ 共産党区議団の政調費の使い方について（区議会報告の発行や事務局の人件費、区政アンケートの実施費用など。飲食は02年7月より茶菓代等含め一切禁止）

01年に政調費の領収書全面公開を実現させた過程や、官官接待をやめさせるなど、税金の無駄遣いをやめさせる上で果たしてきた日本共産党の歴史的役割について

質疑では区の職員の方から「ここ何年も給料が削減され続けている。コピーも裏紙を使えなど、徹底した節約を義務付けられている。自らは税金を好き勝手に使いながら、職員を削減し「行革」を強烈に押し進めてきた自民・公明・民主は許せない」という旨の怒りの発言がありました。

繰り返しますが、自らは税金を好き勝手に使いぬくぬくと暮らしながら、区民には「自助努力」「競争」の名の下に、リストラや負担増をおしつけてくる・・・ここにこの問題の罪深さがあると思います。

五反田駅の宣伝中、30代とおぼしき派遣の方が「生活費が千円しかない」と相談してきました。格差・貧困の広がりを実感。



安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。